

うまかりしゅうと 馬狩柊斗選手

世界大会出場へ



深川西高校2年生の馬狩柊斗選手（市内5）が3月上旬に京都市南丹市で開かれた「ジャパンプラシックパワーリフティング選手権大会」のサブジュニア（14〜18歳）男子59キロ級で優勝し、8月28日から9月8日に欧州・マルタ共和国で開催される世界大会への出場が決定しました。

馬狩選手が出場するサブジュニア男子59キロ級は9月1日（日）19時から20時頃に行われる予定で、世界各国から出場する約20名と優勝を目指し、競い合います。競技を始めて2年弱で世界大会の出場を決めた馬狩選手は「世界大会に出場する目標を達成することができて良かった。出場選手の重量を見て世界との壁を感じたが、自分ができることを全力で尽くしたいです」と熱く話されました。

世界大会の様子は、IPF公式YouTubeチャンネル（下記QRコード）で生中継されますので、是非ご覧ください。



▲大会での健闘を誓う馬狩選手

馬狩選手の自己ベスト記録

スクワット	170kg
ベンチプレス	95kg
デッドリフト	180kg
合計	445kg



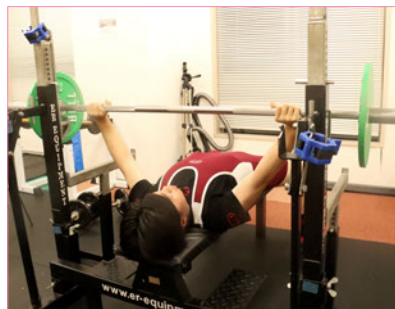
▲ IPF 公式 YouTube
チャンネル
9/1（日）
19時から20時
中継予定

パワーリフティングって？

パワーリフティングとは、ウェイトトレーニングの基本種目を競技化したスポーツで、スクワット（脚力）、ベンチプレス（腕力）、デッドリフト（背筋力）の3種目の重量で競い合い、そのトータル重量で順位を決定します。健康トレーニングの代表的種目があるまま競技種目に発展しているため、幅広い年齢層と男女を問わずだれでも参加できる競技となっています。



▲スクワット



▲ベンチプレス



▲デッドリフト